

団体名	大阪府立大学国際・地域連携課						
事業名	留学生と地域の交流を通じた大阪府岬町の地域活性化プロジェクト						
実施期間	2018年5月1日～2019年1月31日						
場 所	大阪府岬町						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	39		3	205	30		277名

<実施内容>

本事業は、大阪府の最南端に位置する自然豊かな岬町の地域住民、特に小学生と留学生の交流事業である。具体的には①留学生と小規模小学校の交流&ホームステイプロジェクト、②留学生学外研修in 岬町プロジェクトを行いました。

①留学生と小規模小学校の交流&ホームステイプロジェクトでは、2つのプログラムを行い、2018年11月30日の深日小学校では文化発表会を参観し、2018年12月14日の多奈川小学校の訪問では、各教室での歓迎式の後、授業見学や、書写・習字・英語での人生ゲーム・体育などの授業体験を行いました。各小学校訪問の後、留学生たちは岬町の家庭でホームステイを体験しました。

②留学生学外研修in 岬町プロジェクトでは午前中は、「いきいきパーク岬」内にある青木松風庵の和菓子工場を見学しました。工場見学の後は、地域内の多奈川小学校と深日小学校の両校を訪問しました。両学校とも、1学年1クラスの小規模小学校で、保育所を小学校の中に付設させる取り組みを行っています。当日は、保育所と小学生の子どもたちから大歓迎を受け、留学生たちはグループに分かれて全てのクラスを訪問し、授業見学、交流会、給食の時間を通して様々な交流を体験し、子どもたちと一緒に給食をいただきました。午後は、大阪府立青少年海洋センターで岬町の魅力のひとつであるマリンレジャーを楽しみました。2人1組でのカヌーを体験し、エンジン艇に乗ってクルージングを楽しみながら、学生同士も普段以上の交流ができた様子でした。

地域住民、特に小学生への国際理解教育の一助とし、また、留学生が日本の地域社会の現状について学び、外国人から見た町の活性化のアイデアを還元する機会となりました。

<記録写真>



英語での人生ゲーム



給食体験



理智院にて写仏・写経

<参加者からのコメント>

Z・Qさん 中国/China

初めてホームステイに参加して、日本の家庭の生活を体験しました。素晴らしい経験です。家族たちと喋ったり、子供たちとゲームをやったりして、楽しい一日過ごしました。

もちろん、家族たちと交流しているうちに、日本人の生活にもっと詳しく分かるようになりました。

受入小学校教員

交流の内容が留学生にとって合っているかどうか悩みながらも、自国のことについて語ってもらう場面が一番こちら側が学べる場であると考えている。

留学生が日本語を使って自国のアピールをしてくださったので、児童の理解が深まった。

交流後、教室に帰ってから感想を聞くと、全員からたくさんの感想が出てきました。児童たちに学生の方々が優しく関わっていただいたおかげで、とても良い思い出が出来ました。